

## 鶴見区区政会議 平成 29 年度第 3 回地域保健福祉部会議事録（要旨）

1 日 時 平成 29 年 12 月 12 日（火） 19 時 00 分～20 時 41 分

2 場 所 鶴見区役所 4 階 403・404 会議室

3 出 席 者

（委員）

山田部会長、柴田副部会長、笹原委員、高田委員、伴委員、久木委員、藤井委員  
吉江委員

（区役所）

河村区長、野村副区長、奥本区政企画担当課長、小川地域活動支援課長  
嶋原保健福祉課長、松井子育て支援・保健担当課長、貴志生活支援担当課長  
浅田保健担当課長代理、河本福祉担当課長代理、金森保健副主幹兼担当係長  
大田保健福祉課担当係長、小谷地域活動支援課担当係長、古田保健福祉課担当係長

（鶴見区社会福祉協議会 オブザーバー）

村井事務局長、平山主査

4 議 題

- 1 鶴見区将来ビジョン（2018 年度～2022 年度）素案について
- 2 平成 30 年度鶴見区運営方針の素案について
- 3 その他

5 議 事

（1） 委員自己紹介

（2） 鶴見区社会福祉協議会自己紹介

（3） 区役所出席者自己紹介

（4） 部会長（部会委員の互選により選任）・副部会長選出（部会長の指名により選任）

- （部会長）山田委員
- （副部会長）柴田委員

部会長・副部会長あいさつ

(4) 鶴見区将来ビジョン素案の説明

- ・概要について
- ・大阪市地域福祉基本計画の概要について
- ・鶴見区地域保健福祉ビジョン(素案)の策定について
- ・『つながる・支えあう』『住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり』について

みんなで支え合う地域づくり

総合的な相談支援体制の充実

権利擁護の推進

地域福祉の担い手の育成

いきいきと暮らすための健康づくり

(5) 平成30年度鶴見区運営方針素案の説明

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり(地域福祉)について

➤ 委員からの質問・意見等

- ・鶴見区将来ビジョンは、大阪市地域福祉基本計画とほぼ同じ内容であると思うが、高齢者の割合が低いという区の特徴や、地域活動協議会の活用・協力という点を踏まえて、区の独自性を打ち出すべきではないか。例えば、2025年問題は時間に余裕のある人が増えるということであり、このような人を地域に取り込むことや、地域共生社会の実現のためには、現在、要支援の方を地域で支えることで要介護とならないような取組みなど、地域活動協議会との連携についても記載するといった積極的なアプローチが必要ではないか。

鶴見区の地域保健福祉の現状把握、解決に向けた取組みなどを鶴見区将来ビジョン、地域保健福祉ビジョンへ反映していく。

- ・地域での課題解消に向けた地域ケア会議に参加したところ、非常に良いアドバイスを受けることができた。今後もこのような支援を続けて欲しい。今後も地域の課題解決に取り組むとともに、地域包括支援センターや区役所職員のスキルの向上に努めていく。
- ・つなげ隊についてもっと区民に周知してほしい。引き続き周知に努めていく。

## 健康で安心して暮らせるまちづくり（健康づくり）について

### ➤ 委員からの質問・意見等

- ・喫煙率を下げる取組みについて広めて欲しい。

鶴見区民の喫煙率は、大阪市平均を下回るため、取組み事業として加えていなかったが、重要な項目であるため具体的取組として進めていきたい。

- ・社会福祉協議会で介護事業をいろいろ実施しているが、要介護の人が増えているということについて、どのように考えているのか。

ステップ教室を地域で実施してきたが、区全体では介護予防につながっていない数値となっている。鶴見区では2年ほど前から、介護予防の機会を身近なところで増やしていくという事業を実施しており、今後はステップ教室に限らない介護予防事業の展開を考えている。

- ・長野県や和歌山県などでは、地域での健康づくりに関する取組みにより、医療費が減ったという実績がある。介護予防の取組みについては、社会福祉協議会と区と地域が連携して取り組むべきではないか。

住民主体のネットワーク推進事業を活用するなど、今後も地域や社会福祉協議会と協力、連携して取組みを進める。

- ・百歳体操をもっと身近な集会所で開催できるよう検討して欲しい。

担い手や場所の確保など課題もあるが、実施場所や開催回数を増やしていきたいと考えている。

- ・社会福祉協議会が実施している畑づくりの取組みは素晴らしいと感じているが、男性だけでなく、女性も参加できるようにしてもらいたい。（意見）

（６）河村区長閉会のあいさつ

（７）事務連絡